

科目区分	専門分野	授業科目	共通基本技術 (看護過程の基礎)
講師名	前田 こずえ	開講年次	1年次 第2学期
単位数(時間)	1単位(30時間)		
授業概要 *講師からのメッセージ	看護援助の方法論である看護過程について学びます。ゴードンの機能的パターンを用いて対象者の多様な情報(生活者としての側面、生物学的に共通する側面から)収集し看護の視点から統合して対象者の望み(意志)を共有しながらアセスメントする方法を学びます。		
<p>目的: 対象の理解と看護実践の基礎となる基本技術を習得する</p> <p>目標: 1. 看護過程の構成要素について説明できる  2. 看護上の問題を明確にする過程が説明できる  3. 個別性のある看護計画の立案方法が説明できる  4. 看護過程の評価の視点が説明できる  5. 看護記録について説明できる</p>			
回	授業内容		
1	1. 看護過程とは 1) 看護過程とは 2) 看護過程の構成要素		
2	2. 看護過程の展開 1) 情報収集 (1) 情報の種類、情報源、情報収集の方法 2) アセスメントの枠組みと視点 3) 情報の整理・解釈・分析		
3	2. 看護過程の展開 4) 事例を用いたアセスメントの実際 脳梗塞後、左片麻痺のある患者<50代男性・回復期> (1) 情報収集 (2) 情報の捉え方、振り分け (3) 情報の解釈・分析		
4			
5			
6			
7	3. 関連図とは 1) 関連図の必要性 2) 関連図の作成の方法 3) 情報・問題の統合 4) 事例を用いた関連図の作成		
8	4. 問題の明確化 1) 看護問題の種類 2) 看護診断		
9	4. 問題の明確化 3) 共同問題 4) 事例の看護問題の明確化		
10	5. 看護上の問題の優先度 1) 優先度の決定 2) 問題リスト 3) 事例の看護問題と優先度		
11	6. 計画立案とは 1) 目標(期待される結果) 2) 計画 (1) 観察計画 (2) ケア計画 (3) 教育計画 3) 事例の看護計画		
12	7. 実施・評価 1) 実施 (1) 仮説の検証・準備性 (2) 看護計画と毎日の看護計画の関係		

13	2) 評価 (1) 目標達成の判定 (2) 看護問題、看護計画の追加・修正 (3) 事例の記録の実際
14 15 (45分)	8. 看護記録 1) 看護記録の意義と目的 2) 看護記録の法的位置づけ 3) 看護記録の構成 (1) 基礎情報 (2) 看護計画 (3) 経過記録 (4) 看護サマリー 4) 看護記録の種類 (1) SOAP法 (2) フォーカスチャーターティング 5) 看護記録及び診療情報の取り扱い
16	終了試験 45分
授業方法	講義、グループワーク
評価方法	筆記試験 30点、課題レポート 70点
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ 医学書院：NANDA-I看護診断定義と分類 <参考図書> ヌーベルヒロカワ：ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 第6版 学研メディカル秀潤社：看護過程に沿った対症看護 学研メディカル秀潤社：疾患別看護過程の展開
備考	既習関連科目：解剖生理学Ⅰ、事例に関連した「疾病と治療」及び「成人援助論」